

3 調査票

調査に用いた調査票を次頁より示す。

H26 年度 環境基本計画に係る地方公共団体アンケート調査について 調査票

平成24年4月に閣議決定された第四次環境基本計画における地方公共団体に期待される役割を踏まえ、貴団体における状況（平成26年12月末現在）をお尋ねします。

なお、第四次環境基本計画に関する情報については、環境省ホームページに掲載しております。
(http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/index.html)

I 貴団体の概要

問 I-1 貴団体名及び担当部課名をご記入ください(市区町村の場合は、都道府県名も記載してください)。

貴団体名		都道府県名	
担当部課名			課
ご連絡先 (電話/e-mail等)			

問 I-2 貴団体の平成26年3月の住民基本台帳上の人口について、該当する項目に○をつけてください。

1. 1万人未満
2. 1万人以上10万人未満
3. 10万人以上30万人未満
4. 30万人以上50万人未満
5. 50万人以上

II 環境施策の基本となる条例及び計画

問Ⅱ-1 貴団体において、環境や持続可能な地域づくりに関して記述しているマスタープラン、基本構想、計画等がありますか（分野・内容は問いません）。該当する項目に○をつけてください。

ある	ない	わからない
1	2	3

問Ⅱ-2 平成24年4月に閣議決定された「第四次環境基本計画」を知っていますか。該当する項目に○をつけてください。

詳しい内容まで知っている (本文を読んだことがある)	概要程度は知っている	内容は全くわからないが、 名前は知っている	知らない
1	2	3	4

【問Ⅱ-1で「1」と回答した団体のみ回答してください。】

問Ⅱ-3 環境施策の基本となる条例及び計画（※1）の策定状況について、該当する項目に○をつけてください。

	策定済 （※2）	策定 作業中	策定を検討中	当面は 策定の予定 はない
a. 環境施策の基本となる条例	1	2	3	4
b. 環境施策の基本となる計画	1	2	3	4

※1) ここでは、地球温暖化対策地方公共団体実行計画は含みません。

※2) 既に策定済であれば、「改定作業中」、「改定を検討中」、「改定予定なし」のいずれも含みます。

●SQ1) 「策定済」と回答した団体は、当該条例又は計画の名称及び策定日を記してください。

何度も改定をされている場合は最新の年月を記してください。

a. 条例名		策定年月 (公布日)	(西暦)	年	月
b. 計画名		策定年月 (公布日)	(西暦)	年	月

●SQ2) 「当面は策定の予定はない」と回答した団体は、その理由を簡単にご記入ください。

(自由回答)

【問Ⅱ-6で「1」又は「2」と回答した団体のみ回答してください。】

問Ⅱ-7 環境施策の基本となる計画の策定（改定）に当たっての住民等の意見の取り入れ方法について、以下の事項ごとに該当する項目に○をつけてください。

意見の取り入れ方法	実施している	実施を検討中である	当面は実施する予定はない
a. 市民参加型（公募型）の委員会の設置	1	2	3
b. WEB上でのパブリックコメントの実施	1	2	3
c. その他手法でのパブリックコメントの実施	1	2	3
d. 環境に関するイベント（説明会、環境セミナー等）での意見聴取	1	2	3
e. 環境以外のイベント（展示会等）での意見聴取	1	2	3
f. アンケートの実施	1	2	3
g. その他（ ）	1	2	3

【問Ⅱ-6で「1」と回答した団体のみ回答してください。】

問Ⅱ-8 環境施策の基本となる条例及び計画の策定（改定）に当たっての住民等の意見の取り入れる際に成功している取組はありますか。

（例：環境イベント以外のイベントで説明・アンケートを実施等）

（自由回答）

【全団体回答してください。】

問Ⅱ-9 環境施策の基本となる条例及び計画の策定（改定）に当たっての住民等の意見の取り入れる際の課題として考えていることは何ですか。

（例：セミナー等を開いても同じ方しか参加しない、アンケートの回収率が悪い、手間がかかる等）

（自由回答）

【問Ⅱ-11で「1」と回答した団体のみ回答してください。】

問Ⅱ-13 環境施策の基本となる計画の事業者・住民等への普及・啓発活動について、成功している取組はありますか。

(例：学校や企業で出張講座を実施等)

(自由回答)

【全団体回答してください。】

問Ⅱ-14 環境施策の基本となる計画の事業者・住民等への普及・啓発活動について、課題として考えていることは何ですか。

(例：セミナー等を開いても同じ方しか参加しない、手間がかかる等)

(自由回答)

【問Ⅱ-3の「b」で「1」又は「2」と回答した団体のみ回答してください。】

問Ⅱ-15 環境施策の基本となる計画に基づく施策の実施に当たり、住民等の意見を取り入れましたか、又は取り入れていますか。該当する項目に○をつけてください。

1. 「取り入れた」又は「取り入れている」
2. 取り入れていないが、今後については検討中
3. 取り入れておらず、今後も取り入れる予定はない

【問Ⅱ-15で「1」又は「2」と回答した団体のみ回答してください。】

問Ⅱ-16 環境施策の基本となる計画に基づく施策の実施に当たっての住民等の意見の取り入れ方法について、以下の事項ごとに該当する項目に○をつけてください。

意見の取り入れ方法	実施している	実施を検討中である	当面は実施する予定はない
a. 市民参加型（公募型）の委員会の設置	1	2	3
b. WEB上や広報誌での意見の受付	1	2	3
c. 環境に関するイベント（説明会、環境セミナー等）での意見聴取	1	2	3
d. 環境以外のイベント（展示会等）での意見聴取	1	2	3
e. アンケートの実施	1	2	3
f. その他（ ）	1	2	3

【問Ⅱ-15で「1」と回答した団体のみ回答してください。】

問Ⅱ-17 環境施策の基本となる計画に基づく施策の実施に当たっての住民等の意見の取り入れ方法について、成功している取組はありますか。

（例：環境イベント以外のイベントで説明・アンケートを実施等）

（自由回答）

【全団体回答してください。】

問Ⅱ-18 環境施策の基本となる計画に基づく施策の実施に当たっての住民等の意見の取り入れ方法について、課題として考えていることは何ですか。

（例：セミナー等を開いても同じ方しか参加しない、アンケートの回収率が悪い、手間がかかる等）

（自由回答）

【問Ⅱ-3の「b」で「1」と回答した団体のみ回答してください。】

問Ⅱ-19 環境施策の基本となる計画に基づく施策の実施状況の点検について、該当する項目に○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 「実施した」又は「実施している」
2. 実施していないが、今後については検討中である
3. 実施しておらず、今後も実施する予定はない |
|---|

【問Ⅱ-19で「1」と回答した団体のみ回答してください。】

問Ⅱ-20 環境施策の基本となる計画に基づく施策の実施状況の点検について、工夫をしている点はありませんか。（例：定量的な指標等を用いて点検している、5段階評価でわかりやすく表示している、目標到達度を示している等）

点検方法について	例1) 市民委員も含めた委員会で点検を行っている 例2) 市民アンケートを行っている (自由回答)
目標設定・達成評価について	例1) 定量的な目標を設定している 例2) 指標により目標達成度を評価している (自由回答)
住民への点検結果の公開方法（見せ方）について	例1) 結果がわかりやすいように5段階評価にしている 例2) 点検結果のパンフレットを作成している (自由回答)
その他	(自由回答)

Ⅲ 環境施策の実施状況

問Ⅲ-1 国の第四次環境基本計画に掲げる別表の取組分野の中で、貴団体が現在、重点的に取組を実施している分野を、3~5つ程度挙げて、その理由も記述してください。

可能な限り、詳細なレベル（a-1, d-1-1など）を選択してください。ただし、詳細なレベルに留まらない取組については、上位レベル（a, dなど）を選択してください。更に様々な分野を包括した取組の場合は、「その他・複合分野」を選択し、「理由」の欄にどの分野とどの分野を組み合わせたものなのかを含めて記述してください。

分野	理由
例1) 地球温暖化対策	日照量が多いことから新エネルギーの導入を図っている
例2) 地域循環圏の形成	地域活性化のため、未利用間伐材の利用を積極的に進めている
1.	
2.	
3.	
4.	
5.	

問Ⅲ-2 国の第四次環境基本計画に掲げる以下の取組分野の中で、各主体（住民・住民団体、民間団体（NGO・NPO等）、事業者、他の地方公共団体）と連携・協働した取組（※）を実施していますか。実施している項目に○をつけてください。（複数可）

分野	住民・住民団体	民間団体（NGO・NPO等）	事業者	他の地方公共団体
a. 地球環境の保全（地球温暖化対策、オゾン層保護対策）				
b. 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する取組				
c. 物質循環の確保と循環型社会の構築のための取組				
d. 水環境、土壌環境、地盤環境の保全に関する取組				
e. 大気環境保全に関する取組				
f. 包括的な化学物質対策の確立と推進のための取組				
g. 経済・社会のグリーン化の推進				
h. 技術開発、調査研究、監視・観測等の充実等				
i. 国際的取組に係る施策				
j. 地域づくり・人づくりの推進				
k. 環境情報の整備と提供・広報の充実				
l. 環境影響評価等				
m. 環境保健対策、公害紛争処理等、環境犯罪対策				

※廃棄物処理事業の民間事業者への委託、環境基準の測定の委託等の規制や義務等に対応して実施しているものを含む。

問Ⅲ-3 問Ⅲ-1で挙げた分野について、各主体（住民・住民団体、民間団体（NGO・NPO等）、事業者、他の地方公共団体）と、どのような連携・協働した取組を実施していますか。独自の取組や特徴的な取組を実施している場合、その内容をご記入ください。

	例) 地域循環圏の形成	1)	2)	3)	4)	5)
①住民・住民団体	○ （放置竹林等の荒廃した森林の保全活動）					
②民間団体（NGO・NPO等）	○ （間伐材の収集を森林組合と協力して実施、放置竹林等の荒廃した森林の保全活動）					
③事業者	○ （放置竹林等の荒廃した森林の保全活動）					
④他の地方公共団体	○ （広域連携のための検討会を実施）					
⑤その他	①と②と③で連携・協働した取組（森林保全活動）を実施					

【問Ⅲ-3でいずれかの主体と連携・協働した取組を実施していると回答した団体のみ回答してください。】

問Ⅲ-4 成功している連携・協働事例があれば、連携・協働の内容と連携・協働のきっかけ、成功のポイントをご記入ください。

(自由回答)

【問Ⅲ-3でいずれかの主体と連携・協働した取組を実施していると回答した団体のみ回答してください。】

問Ⅲ-5 連携・協働の課題事例があれば、連携・協働の内容と課題をご記入ください。

(自由回答)

問Ⅲ-6 問Ⅲ-1で挙げた分野について、環境情報の整備や提供、広報の充実に関する取組を実施していますか。以下の事項ごとに該当する項目に○をつけてください。

情報の提供方法	採用している	検討中である	当面は実施する予定はない
a. ホームページへの情報の掲載 (専用のホームページを作成)	1	2	3
b. ホームページへの情報の掲載 (全体的なイベントやお知らせ等に掲載)	1	2	3
c. 広報誌等への環境情報の掲載	1	2	3
d. パンフレット等の作成	1	2	3
e. 環境に関するイベント(説明会、環境セミナー等)を通じた提供	1	2	3
f. 環境以外のイベント(展示会等)を通じた提供	1	2	3
g. 環境白書等の作成	1	2	3
h. その他()	1	2	3

【全団体回答してください。】

問Ⅲ-7 国の第四次環境基本計画に掲げる別表の取組分野の中で、貴団体が今後、重点的に取組を実施していきたいと考えている分野を、5つ程度挙げて、その理由も記述してください。

可能な限り、詳細なレベル（a-1, d-1-1など）を選択してください。ただし、詳細なレベルに留まらない取組については、上位レベル（a, dなど）を選択してください。更に様々な分野を包括した取組の場合は、「その他・複合分野」を選択し、「理由」の欄にどの分野とどの分野を組み合わせたものなのかを含めて記述してください。

分野	理由
例1) エコツーリズム	固有種が存在することから、今後エコツーリズムを推進した地域活性化を図りたいと計画中
例2) 有害大気汚染への対策	市民から黄砂についてのご意見が増えたため、今後対策を考えたい
□問Ⅲ-1で回答した現状の取組と完全に同じ場合は、ここをチェックしてください。 (その場合は、当設問の以下は回答不要です)	
1.	
2.	
3.	
4.	
5.	

【全団体回答してください。】

問Ⅲ-8 下記のような国際に関連した環境活動を行っていますか。以下の事項ごとに該当する項目に○をつけてください。

国際に関連した環境活動	実施している	実施を検討中である	当面は実施する予定はない
a. 開発途上国への人材派遣や技術指導・協力	1	2	3
b. 開発途上国からの研修員の受入れ	1	2	3
c. パートナリシップ形成	1	2	3
d. 環境保全に関する国際会議等の開催	1	2	3
e. 環境保全に関する国際会議等への参加	1	2	3
f. 地域の国際に関連した環境活動を行う事業者や民間団体への支援	1	2	3
g その他 ()	1	2	3

【全団体回答してください。】

問Ⅲ-9 国の環境基本計画に掲げる「国内における水環境の保全」の取組のうち、「流域での環境保全上健全な水循環の構築に関する計画」（別表d-1-1）の策定状況について、該当する項目に○をつけてください。

策定済 (※)	策定 作業中	策定を検討中	当面は策定の 予定はない
1	2	3	4

※) 既に策定済であれば、「改定作業中」、「改定を検討中」、「改定予定なし」のいずれも含まれます。

問Ⅲ-10 流域での環境保全上健全な水循環の構築に関する施策の取組状況について、該当する項目に○をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 必要な施策はすべて実施している2. 必要な施策は一部実施している3. 必要な施策を何も実施していないが、検討中のものはある4. 必要な施策を何も実施しておらず、検討中のものもない5. 対策が必要な状況にない |
|--|

アンケートは以上です。お忙しいところ、ご協力いただき、ありがとうございました。

別表 ※問Ⅲ-1、問Ⅲ-7、問Ⅲ-9でご利用ください。

第四次環境基本計画第2部第4章「環境保全施策の体系」を参考に分野を整理したもの。当該計画において地方公共団体に期待される役割として記述されている取組を中心に例示。

取組分野		期待される取組の主な例	
a.地球環境の保全	a-1 地球温暖化対策	自然的社会的条件に応じた温室効果ガスの排出削減のための総合的かつ計画的な施策の策定・実施（温室効果ガス削減、地域資源をいかした再生可能エネルギーの導入等）	
	a-2 オゾン層保護対策	ノンフロン製品の普及促進、フロン類の適切な回収の促進等	
b.生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する取組	b-1 生物多様性の主流化に向けた取組	森林環境税など生態系サービスの支払いの取組、生物多様性に配慮した認証商品の普及、生物多様性地域連携促進法に基づく地域連携保全活動計画の策定及び活動の実施	
	b-2 生態系ネットワークの形成と重要地域の保全	生物の生息・生育空間のまとまりとして核となる地域及びその緩衝地域の適切な配置・保全並びにそれらのつながりの確保	
	b-3 自然再生	河川、湿原、干潟、森林等の自然再生	
	b-4 里地里山の保全活用	里地里山等の二次的自然環境の保全と持続可能な利用	
	b-5 都市の生物多様性の確保	都市公園の整備又はインフラ整備における生物多様性への配慮	
	b-6 絶滅のおそれのある種の保存	絶滅危惧種の生息・生育状況調査、生息・生育環境改善又は飼育・栽培・繁殖の実施	
	b-7 野生鳥獣の保護管理	野鳥における高病原性鳥インフルエンザのサーベイランス、保護管理の担い手の確保や育成、科学的・計画的な保護管理の推進、生息状況等のモニタリング調査の継続的な実施	
	b-8 外来種対策の強化	外来種（国内由来を含む）の飼養・放逐の規制、防除事業の実施	
c.物質循環の確保と循環型社会の構築のための取組	c-1 「質」にも着目した循環資源の利用促進・高度化	ベースメタル、レアメタル等の回収の促進、循環資源活用に関する情報発信	
	c-2 低炭素社会、自然共生社会づくりとの統合的取組	廃棄物発電の活用、バイオマス系循環資源等の原燃料への再資源化促進	
	c-3 2Rを重視したライフスタイルの変革	廃棄物の発生抑制・リユース品の活用の推進、消費者のライフスタイル変革の普及啓発	
	c-4 地域循環圏の形成	バイオマスなど循環資源の地域内での活用促進、地域における環境教育・環境学習の場の提供、地産製品の推奨・情報提供	
	c-5 循環分野における環境産業の育成	3Rに配慮されたグリーン製品・サービスの推奨・情報提供、地域内の廃棄物処理業者・リユース・リサイクル業者の指導・育成、優良産廃処理業者認定制度の認定業者に関する情報の発信、電子manifestoの普及	
	c-6 安全・安心の観点からの取組の強化	有害廃棄物（アスベスト、PCB、鉛等）に関する適切な管理・モニタリングの実施、違法な廃棄物処理を行うものに対する指導の徹底	
d.水環境、土壌環境、地盤環境の保全に関する取組	d-1 水環境の保全	d-1-1 流域での環境保全上健全な水循環の構築に関する計画の策定	流域での環境保全上健全な水循環の構築に関する計画の策定
		d-1-2 d-1-1以外の水環境の保全に係る取組	水環境基準の達成・維持
	d-2 土壌環境の保全	土壌汚染の適切な調査・対策、新たな有害物質及びばく露経路に関する知見の集積	
	d-3 地盤環境の保全	地下水採取抑制対策推進、地盤環境保全上健全な水循環の確保に向けた取組の推進	

取組分野		期待される取組の主な例
e. 大気環境保全に関する取組	e-1 有害大気汚染物質への対策（光化学オキシダント、PM2.5、窒素酸化物、その他の有害物質）	大気環境基準の目標達成・維持
	e-2 騒音・振動対策	交通の分散や円滑化、遮音壁・低騒音舗装等の実施
	e-3 後住者に係る交通騒音問題の未然防止	沿道・沿線の騒音状況を情報提供するなどの誘導施策により、交通騒音問題を未然に防止するための取組
	e-4 悪臭対策	臭気指数規制導入の促進
	e-5 ヒートアイランド対策	人工排熱の利活用・低減、地表面被覆及び都市形態の改善
	e-6 光害対策、感覚環境	光害対策の普及啓発の推進、よりよい感覚環境（かおり、音等といった人間が感覚を通じて感じる環境）の普及啓発
f. 包括的な化学物質対策の確立と推進のための取組	f-1 化学物質の科学的なリスク評価の推進	環境リスク評価手法の検討
	f-2 化学物質のライフサイクル全体のリスクの削減	製造から廃棄・処理までのライフサイクルの各段階における適切な化学物質の管理、より安全な代替物質への転換等の取組の促進
	f-3 化学物質に関する安全・安心の一層の推進	モニタリングの実施、リスクコミュニケーションの推進
g. 経済・社会のグリーン化の推進	g-1 事業者の環境マネジメントの促進及び取組状況についての情報開示	事業者に対する環境マネジメントの推進、同システムを活用した環境保全の取組の推進
	g-2 環境の視点からの経済的インセンティブの付与	環境に関する経済的手法（補助金、税制優遇による財政的支援等）の導入・検討
h. 技術開発、調査研究、監視・観測等の充実等	h-1 グリーン・イノベーションの推進及び技術開発における環境配慮等	環境研究機関による環境研究・技術開発の推進、開発に当たっての環境影響の配慮
	h-2 官民における監視・観測等の効果的な実施	環境に関する監視・測定の実施、実施体制の整備
i. 国際的取組に係る施策		海外都市等との協力、開発途上国に対する人材育成の支援、国際的取組を行う民間団体等への支援
j. 地域づくり・人づくりの推進	j-1 国土の国民全体による管理の推進	地域の自然的社会的条件に応じた森林、農地、都市等の持続可能な整備、保全、利用
	j-2 多様な主体による参画の促進	「国土の国民的経営」の考え方の普及、持続可能な地域活動の体験機会の提供
	j-3 持続可能な地域づくりのための地域資源の活用と地域間の交流等の促進	農産物の地産地消、エコツーリズム・地域の文化・自然とのふれあい等の機会の提供
	j-4 環境教育・環境学習等の推進と各主体をつなぐネットワークの構築・強化	環境教育・環境学習の推進、組織・地域ネットワーク構築の推進
k. 環境情報の整備と提供・広報の充実		環境に関する統計等の情報基盤の整備と活用、生活環境・自然環境に関するデータの収集又は情報の公開
l. 環境影響評価等		自らの活動に関する環境配慮の実践
m. 環境保健対策、公害紛争処理等、環境犯罪対策	m-1 環境保健対策、公害紛争処理等及び環境犯罪対策	環境要因による健康影響に関する調査研究の推進、不法投棄等の環境犯罪に対する取締体制の強化